

1/14

米軍機による夜間騒音等に抗議



オスプレイをはじめとする米軍機による夜間騒音が激化していることなどから、沖縄防衛局長、外務省沖縄担当大使及び第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官へ抗議・要請を行いました。佐喜真市長は「夜間騒音は市民生活に大きな影響を及ぼしており誠に遺憾である」と抗議し、夜間騒音、住宅地上空での旋回飛行訓練及び外来機飛来の中止を強く求めました。

1/20

米軍機部品落下事故に抗議



普天間飛行場所属のAH-1Wヘリからミサイルポッドなど200kgを超える部品が落下したとの報告を受け、沖縄防衛局長、外務省沖縄担当大使および第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官へ抗議・要請を行いました。佐喜真市長は「一歩間違えれば大惨事となっていた」と強く抗議し、抜本的解決のためにも普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還を求めました。

特別養護老人ホーム宜野湾市福寿園の民営化について ～さらなるサービス向上を目指して～

■民営化の目的と経緯

特別養護老人ホーム宜野湾市福寿園は老人福祉のさきがけとして、昭和52年6月から県内唯一の市立特別養護老人ホームとして運営してきましたが、今後は「民に任せられるものは民に任せる」という宜野湾市外部委託等推進方針に基づき、民営化することと致しました。民間の持つ柔軟性や効率性を活かして介護サービスの充実を図るとともに、市は、従来の直接的なサービスを提供することではなく、市全体の老人福祉を向上させていくことに注力していきます。

民営化に向けては、第一に入所者およびご家族の皆さんが不安を抱かぬように、福寿園民営化基本方針および実施計画書等の説明会を実施し、公募要項策定への意見聴取やアンケート調査等を行いました。その後、応募いただいた6事業者からの提出書類の審査、応募事業者によるプレゼンテーションおよびヒアリングを実施し、選定手続きを進めてきました。その結果、現在の福寿園で提供するサービス水準を落とさず、さらなるサービスの向上や今後の市の老人福祉施策、社会福祉事業との連携およびサービス拡張に期待ができるものとして、移譲する事業者を選定致しました。

■民営化の時期

平成27年4月1日から、社会福祉法人による運営が開始されます。

■移譲先法人

名称 社会福祉法人 喜寿会
所在地 沖縄県南城市佐敷字小谷238-1
理事長 喜舎場 朝義



4月から社会福祉法人により運営される福寿園

※詳細は、市ホームページ（福寿園のページ）をご覧ください。

問合せ：宜野湾市福寿園 ☎892-1333